

第 22 回日本補完代替医療学会学術集会

学術集会開催にあたって



第 22 回日本補完代替医療学会学術集会
会長 榎本 俊樹

2019年11月30日（土）に石川県金沢市商工会議所会館において第22回補完代替医療学会学術集会を開催いたします。

第21回日本補完代替医療学会学術集会は、一般社団法人比較統合医療学会の第62回大会と合同で実施され、「人間と動物の健康促進・未病改善をめざして」と題するテーマで、医師と獣医師の連携による補完代替医療の新たな展開につながる意義ある学術集会でありました。

本年度第22回日本補完代替医療学会学術集会におきましては、テーマとして「機能性食品と医食農連携」を掲げる事と致しました。機能性食品の材料は、我々がふだん口にするもの、すなわち農林畜水産物であることは言うまでもありません。また、発酵食品に關与する微生物もその範疇に入ります。これらの食材や発酵に關与する微生物の基礎から応用までの機能性研究あるいは機能性食品開発は農学の得意とする分野でもあります。しかし、農学分野での機能性食品の研究は、機能性成分の構造解析や動物実験による評価、機能性食品の開発が主で、医学や獣医学の得意とする臨床分野の取組みは少ないのが現状です。一昨年、昨年、日本の日本補完代替医療学会は、比較統合医療学会と合同で開催され、医師と獣医師が連携した新たな補完代替医療へのスタートが切られました。本大会では、これまでの取組みに加え、食と機能性に関する研究を得意とする農学分野との連携を強め、補完代替医療のさらなる発展を目指すことを視野に、有意義な討論ができればと考えております。本大会は、1日だけの開催となりますが、一般演題の他に特別講演、シンポジウムを予定しております。

金沢での開催は、3年ぶりです。金沢は地方都市ですが、東京からは新幹線が利用でき、また小松空港についても、東京便の他、成田、那覇、福岡、仙台、札幌の各便があるので、全国からのアクセスも容易です。冬の金沢は、蟹や鰯をはじめとする新鮮な魚介類、加賀野菜、かぶら寿司等の伝統発酵食品、地酒等、食の宝庫でもあります。冬の金沢で、食を楽しみながら、機能性食品のこれからについて、活発な意見交換ができればと考えております。

多くの皆様の演題発表とご参加を心よりお待ちしております。

2019年3月吉日